

町田市立自由民権資料館「町田のおカイコさん」展の開催について

安政 6（1859）年に横浜が開港すると、生糸は日本最大の輸出品となりました。町田市はのちに「絹の道」と呼ばれる貿易港横浜と生糸が集まる八王子を結ぶルート上に位置したため、養蚕が盛んとなり、繭や生糸が取り引きされた原町田の市は多くの人びとで賑わいました。

人々は育てるのが大変な蚕を大切に扱い、繭の豊作を祈るなど、身近な存在であった蚕を親しみを込めて「おカイコさん」と呼びました。また、現在でも市内の多くの小学校では、蚕を育てる体験を通して地域を知る、という授業を行っています。本展では、町田における「おカイコさん」との関わりや歴史について、残された記録や養蚕に使われた道具をもとにご紹介いたします。

1 開催期間 2023 年 7 月 22(土)～9 月 3 日(日)

2 観覧場所・時間

①自由民権資料館 入館無料

午前 9 時から午後 4 時 30 分 ※月曜日休館

②三輪の森ビクターセンター内郷土資料展示室 入室無料

午前 9 時から午後 4 時 ※月曜日休室

3 関連企画

①講演会 2 回：(8/5「カイコ博士の小泉先生に聞いてみよう!」、
8/20「養蚕が民家をエコハウスにした」)

②体験イベント 1 回：「昔の夏のくらし体験」(8/26)

③学芸員による展示解説 3 回：(7/29・8/12・9/2)

④愛称の決定：(7/22～9/3)

自由民権資料館が、自由民権運動とともに町田市の歴史を紹介する施設であることを知っていただくため、近隣の小中学校などに呼びかけて募った愛称候補の中から、来館者に好きな愛称を選んでいただき決定します。

4 周知について

広報まちだ 7 月 15 日号掲載、SNS 発信、ポスター・チラシ配布（公共施設・小中学校等）、クロームブックへのチラシデータ掲載等

展示会場で、子ども向け「町田のおカイクさんガイドブック」を配布します。



企画展

町田の

おカイコさん

2023年

7月22日(土) → 9月3日(日)

入館無料

2つの
会場で
同時開催!

メイン会場
会場 | 町田市立自由民権資料館(町田市野津田町897)

サテライト会場
三輪の森ビジターセンター 郷土資料展示室(町田市三輪町740)

開館時間 | 午前9時～午後4時30分(三輪の森ビジターセンターは午後4時まで) 休館日 | 月曜日



自由民権資料館常設展も
あわせて見ると

町田の歴史がわかるよ

町田市立自由民権資料館

①糸繰りする女性/②ざくり/③製糸工女日記帳/④種紙/⑤桑摘みかご



町田のおカイコさん

小田急線町田駅付近のカリヨン広場に、「絹の道」と彫られた石碑があるのをご存じでしょうか。この石碑は昭和58(1983)年に建てられました。

安政6(1859)年に横浜が開港すると、生糸は日本の最大の輸出品になりました。市域は貿易港横浜と生糸が集まる八王子の間にあり、その通り道がのちに「絹の道」と呼ばれるようになりました。

生糸を取るため、養蚕がおこなわれていた市域では、人びとの生活にも変化があらわれました。江戸時代から養蚕をしていた農家だけでなく、新たに蚕を飼う人びとも増えていき、原町田の市では繭や生糸の取り引きが増え、その他の商人も集まり賑わいました。

人びとは、蚕を「おカイコさん」と親しみをこめて呼びました。「おカイコさん」を育てるのは大変でしたが、その成長に合わせて桑の葉を与え、繭ができるまで糸取りをし、繭の豊作を祈るなど、人びとの身近に「おカイコさん」がありました。

現在、市内の小学校の中には、蚕を育てる体験を通して地域を知る、という授業をおこなっているところもあります。本展では、昔の人びとが残した記録や使っていた道具をもとに、町田の「おカイコさん」にまつわる歴史についてご紹介します。



*すべて参加無料

関連イベント

1. ワークショップ

カイコ博士の小泉先生に聞いてみよう！
カイコの仲間と、カイコの飼い方、観察のしかた

日時：8月5日(土) **事前申込**
①午前10時～11時、②午後1時～2時
※内容は各回とも同じです。

会場：自由民権資料館 閲覧室
講師：小泉勝夫氏(蚕糸絹業史研究家)
対象：小・中学生(保護者の参加もOK！)
定員：各回20名(先着申込順)

夏休みの
自由研究に
オススメ！

2. 講演会

養蚕が民家をエコハウスにした

日時：8月20日(日) 午後2時～4時 **事前申込**

会場：町田市民文学館ことばらんど 大会議室
(町田市原町田4-16-17)
講師：丸谷博男氏(一般社団法人エコハウス研究会代表理事)
定員：50名(先着申込順)

3. 担当学芸員による展示解説

日時：7月29日(土)、8月12日(土)、9月2日(土)
いずれも午後2時から30分程度

会場：自由民権資料館 展示室1
参加自由

4. 夏休みイベント

昔の夏の暮らし体験

洗濯板を使った洗い張りをしたり、蚊帳に入ったり、昔の暮らしを体験できます。見学だけでもOK！

日時：8月26日(土) 午前10時～午後4時

会場：村野常右衛門生家
(町田市小野路町1256-1 野津田公園内)

参加自由

昔の暮らしに
タイムスリップ！



5. 自由民権資料館の愛称を選ぼう！

5つの候補から自由民権資料館の愛称を投票していただけます。皆さまの投票をお待ちしております。

投票期間：7月22日(土)～9月3日(日)

投票会場：自由民権資料館

どなたでも
投票
できます！



各会場への交通案内



町田市立自由民権資料館
〒195-0063
東京都町田市野津田町897

【京横浜線-小田急線町田駅から】
小田急北口POPビル先の21番バス乗り場から「本町田経由野津田車庫行」・「本町田経由鶴川駅行」で、「袋橋」バス停下車
【小田急線鶴川駅から】
5番バス乗り場から「野津田車庫行」・「本町田経由町田駅行」で、「鶴川入口」バス停下車
・駐車場は台分あり。



三輪の森ビクターセンター
郷土資料展示室
〒195-0054
東京都町田市三輪町740

【小田急線鶴川駅から】
4番バス乗り場から「フェリシアこども短期大学行」で、「妙福寺前」バス停下車、徒歩約10分
・駐車スペースが少ないので、なるべく公共交通機関でご来場ください。

町田市立自由民権資料館 @machida_minken

TEL 042-734-4508 FAX 042-734-4566

[1. ワークショップ・2. 講演会の申込方法]
町田市イベント申込システム「イベシス」または
町田市イベントダイヤル(☎042-724-5656)
からお申し込みください。



関連イベントの詳細は「広報まちだ」または町田市HPをチェック！

まちだ

町田のおカイコさん

ガイドブック



はじめに

この冊子は「町田のおカイコさん」展のガイドブックとして、小学校中学年から中学生までを対象として作成しました。ここに掲載している写真の中には展示していないものもありますが、みなさんが町田の養蚕について調べることができるよう、たくさん紹介します。

まちだ 町田とカイコ

カイコを育て、マユを収かくするまでの作業を「養蚕」と言います。マユからは生糸という糸ができ、これを加工すると絹(シルク)という丈夫できれいな糸ができあがります。

マユは身のまわりのものに
変身するよ!



マユ



生糸



絹糸

絹糸はピカピカしているね



着物

食べ物

インテリア

化粧品など



町田では江戸時代から昭和時代のはじめごろまで、農作業のあいまに養蚕がおこなわれていました。

まちだ ようさん 町田で養蚕がおこなわれていた理由

- 糸とマユが集まる八王子と、生糸を外国へ輸出する中心の港だった横浜を結ぶ道の中に町田はあった。原町田が商業地として発展し、市では糸とマユが中心の商品だった!
- 糸とマユは、お金をかせぎやすかった! などと考えられます。

しかし、生糸にかわる化学せんいの登場によって絹を使う機会が少なくなるなどの理由により、養蚕をおこなう家は少なくなりました。

カイコのごはん「桑」

カイコに桑の葉をエサとしてあたえることを「給桑」と言います。カイコ100頭を卵からマユになるまで育てるには約6キログラム(約1600枚)の桑の葉が必要です。たくさんのカイコを育てるにはたくさんの桑の葉が必要なので、昔の町田には桑畑がたくさんありました。



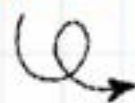
町田で見られる桑の木

昔の町田の地図



大日本帝国陸地測量部「原町田地形図」(1909年)
町田市立自由民権資料館所蔵

桑畑の地図記号がたくさんあるよ



桑畑の地図記号



「春養蚕日記」(1907年)
町田市立自由民権資料館所蔵

大きく良い桑の葉と、それを見つけた場所を記録したもの。

カイコが大きく成長すると食べる桑の量もふえるので、子どもも桑つみなどの手伝いをしました。養蚕の仕事でいそがしくなる時は、「カイコ休み」といって学校が休みになりました。

マメ知識

大人の着物1枚を作るには、マユ約3000こ(約5キログラム)が必要だよ。

ようさん しごと どうぐ 養蚕の仕事と道具

カイコが卵からマユに成長するまで、約1か月かかります。この間にさまざまな仕事を、たくさんの道具を使っておこない、大切に育てました。

はき立て

種紙の上で卵からかえったカイコを、ほうきを使ってエビラ(飼育用の棚)へ移します。



種紙

カイコの卵が産みつけられている台紙です。カイコの卵は植物の種ににていることから「種」と呼ばれています。



はき立てほうき

卵からかえったばかりのカイコは、とても小さいので、鳥の羽根でやさしくあつかいました。

飼育

桑つみ カイコのエサの桑の葉をつみます。

給桑 カイコに桑の葉をあたえます。

除砂 カイコの食べ残しや、フンなどをそうじします。



桑切りかま



押し切り

小さいカイコには桑の葉を刻んであたえました。



桑爪という道具を使って桑の葉をつんでいるよ(回師町)

上ぞく

マユを作るため、まぶし(カイコがマユを作る道具)へカイコを移します。



木ばち(かいこぼん)

マユを作る直前のカイコを、まぶしへ移すために使いました。



回転まぶしの様子(小山町)

まゆかき

まぶしにつくられたマユを収かくし、長く保存できるように、かんそうさせます。

毛羽取り

収かくしたマユの毛羽を取り、きれいにします。



毛羽取り機

糸引き

マユを煮てやわらかくなった糸(生糸)を引き出します。



座操り



あげわく座操りで巻き取った生糸を、糸と糸がくっつかないようにかわかしながら巻き取る道具です。



まだしりつじゆうみんけん町田市立自由民権資料館寄託資料

出荷

生糸を売ります。糸にせず、マユのまま売る場合もありました。



マユかご
マユを運ぶ竹かご。



マユます
マユの量をはかるいれ物。

マス目にマユがたくさんあるね

おばあさんが糸引きをしてるね
(小野路町)

写真の道具のほかに、
たくさんの道具を使っていました。

まちだで見られる祈りのかたち

カイコはとても大切にされ、「おカイコさん」「おカイコさま」「おこさま」などと親しみをもって呼ばれていました。

そして、大切なカイコが元気に育ち、マユがたくさんとれるよう、神さまや仏さまにお祈りしました。今でも町田には、養蚕に関する神社やお寺、言い伝えなどが残っています。



①蚕種石(相原町)

この石が青く光るのを見て「はき立て」の時期を知ったという言い伝えがあります。



②馬鳴菩薩(小山町
中村不動尊境内)

まずしい人びとに衣服を
あたえる仏さまで、養蚕
や織物の仏さまでもあり
ます。



③蚕影神社(常盤町
常盤不動尊境内)

茨城県つくば市にある蚕影
神社から勧請(神さまの分身
をほかの土地でまつこと)
したと考えられる神社です。

カイコの神さま



金色姫の掛軸
(町田市教育委員
会所蔵)



稚産霊神の掛軸
(町田市教育委員
会所蔵)

【画像左】金色姫

天竺(今のインド)から桑の木のできた船に乗り、日本へ
養蚕の方法を伝えた人物という伝説があります。

【画像右】稚産霊神(左)

日本神話に登場する、カイコと桑を生み出した神さまです。
手にはカイコ、カイコガがついている桑の枝、カイコの卵
がついた紙を持っています。



こかげじんじゃ やまごきまち
⑤蚕影神社(山崎町)



ふ どうさんみょうぜんいん ひらばかま
⑥不動山妙全院(広袴)

みょうぜんいん かんのおんどう いとひきかんのん
妙全院の観音像は「糸引観音」とし
ようさんのか たいせつ
て養蚕農家に大切にされました。



さんようくようひ み わまち
⑧蚕蛹供養碑(三輪町
くまの じんじゃけいだい
熊野神社境内)

くよう
カイコのサナギを供養す
るために建てられました。



こもりじんじゃ や ベまち やがらはちまんぐうけいだい
④子守神社(矢部町 箭幹八幡宮境内)

しうめん
正面にカイコガ、左側に桑の葉の模様があり
ます。「蚕守」から「子守」に名前が変わっ
たと考えられます。



こんじきひめ かない
⑦金色姫(金井)

けんがく
見学するときは、まわりの家や人の迷惑にならないように注意しましょう。

まちだ しりつ じゆうみんけん しりょうかん まちだ し の づ た ま ち 町田の歴史を知ることができる場所

行ってみよう!

まちだ しりつ じゆうみんけん しりょうかん まちだ し の づ た ま ち
町田市立自由民権資料館(町田市野津田町897)

まちだ しりつ じゆうみんけん しりょうかん まちだ し の づ た ま ち
町田を中心とした「自由民権運動」や、町田の歴史についての資料を展示
しています。

かいしつ じかん
開館時間 9:00~16:30

きゅう かん び げつよう び しやく じつ ばあい かいかん よく じつ まい ねんまつ ねん し
休館日 月曜日(祝日の場合は開館し、翌日休館)、年末年始



自由民権資料館

みね もり きょうど しりょうてん じしつ まちだ し み わ ま ち
三輪の森ビジターセンター 郷土資料展示室(町田市三輪町740)

つるかわ ちいき しりょうてん じしつ まちだ し み わ ま ち
鶴川地域を中心とした、昔のくらしの道具を展示しています。

かいしつ じかん
開室時間 9:00~16:00

きゅう かん び げつよう び しやく じつ ばあい かいかん よく じつ まい ねんまつ ねん し
休室日 月曜日(祝日の場合は開館し、翌日休館)、年末年始



郷土資料展示室

まちだ し こう こ しりょうしつ まちだ し し も お や ま だ ま ち
町田市考古資料室(町田市下小山田町4016)

まちだ し こう こ しりょうしつ まちだ し し も お や ま だ ま ち
町田で発見された縄文時代(約16000~2400年前)の土器や土偶などを展
示しています。

かいしつ じかん
開室時間 10:00~16:00

かい しつ び だい ど にちよう び しやく じつ がつ まいしやく ど にちよう び しやく じつ
開室日 第2・4土・日曜日、祝日/7・8月は毎週土・日曜日、祝日



考古資料室

すべて見学無料 ご来館にあたっては、各施設のホームページをご覧ください。

インターネットで知る! 見る! 楽しむ!

まちだ
町田デジタルミュージアム

まちだ しりつ じゆうみんけん しりょうかん まちだ し の づ た ま ち
町田の歴史資料約2000点をインターネットで見ることができます。



町田デジタル
ミュージアム

町田のおカイコさん ガイドブック

発行日: 2023年7月22日

編集: 町田市立自由民権資料館
TEL 042-734-4508
(担当: 佐久間かおる、井上茂信)

発行: 町田市教育委員会
〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22

刊行物番号: 23-15

印刷: ニューカラー写真印刷株式会社

この冊子は3,000部作成し、1部あたり単価は68円です(職員人件費を含みます)。

